

♪来年の干支はウサギ



うさぎは多産豊穰・繁栄のシンボルとされており、山形の熊野大社や埼玉県の調神社、京都の岡崎神社、鳥取の白兎神社など、全国各地にまつられている神社がたくさんあります。

うさぎは目が赤い。全てのうさぎが赤いわけではなく、目や鼻の周囲が赤い品種は、ジャバニーズホワイトです。目が赤い理由は、「色素が薄い」アルビノという遺伝にあり、色素が薄い黒目も透明になり、目の奥の血管が透けて見えるのです。

ウサギ豆知識
古代の呼び名
古代日本では、うさぎは単に「う」と呼ばれていました。では「うさぎ」とは何なのでしょう？これは、鳥の驚からきていると言われています。驚のように白い「う」、あるいは内へうむいた驚と、うさぎの「う」が重なったとされています。これ以外に諸説あつて、細毛を意味する「サケ」だという説や、短い尻尾の意「尾先切（おさき）や、薄毛（うすげ）」の転訛（てんか）とするとといった説があります。

海外の言語では、英語表記は2種類あり、私たちと暮らすアナウサギはラビット(rabbit)、野ウサギはヘア(hare)となります。同じウサギ目ウサギ科ですが、属が違います。見た目も骨格が異なり、生まれた時から野ウサギは毛が生えていたり、巣穴で暮らさないなど、生体に明確な違いがあります。そのほかの言語でうさぎの表記は、フランスのラパン(lapin)はよく知られていますが、中国ではトウツ(兔子)、韓国ではトッキ(토끼)、イタリアではコニョーリョ(coniglio)、ドイツではカニンヘン(Kaninchen)、スペインではコネッホ(conej)と呼びます。

「うさぎにまつわる言葉学」などより

『しあくちゃん』
女の子 1歳 柴犬

虫を追いかけて回したい、植木鉢をかじりたい...とつてもやんなちゃん女の子。お散歩中にほかのワンちゃんを見つけると、遊んでもらいたくて、自分のそばに近寄ってきてくれるまで、おあわいして待つお利口さん。😊
いつまでもゆ良く暮らそうね。



おしゃべりドットコム

<https://www.sawayaka-mail.com>

2022年12月25日(日) Vol.532

『街のたより』第233回

除夜の鐘

大晦日、本年の除夜の鐘は3年ぶりに一般参拝を再開致しますが、鐘をおつき頂くのは先着108名とします。整理券を午後11時半にお配り致します。



吉祥院 新年大護摩祈願

令和5年元旦 午前零時 於：護摩堂
堂内参列可(マスクの着用をお願いします)

本年は元旦零時より護摩祈願を行います。お護摩の火は不動明王の智慧を象徴し、薪は煩悩を表しています。護摩の儀式を通じて薪という煩悩を不動明王の智慧の炎で焼きつくし皆さまの願いが清浄な願いとして高まり、成就する事を祈ります。堂内に参列可(定員あり)といたしますので是非ご参列下さい。



おれのお申込みはお電話、FAXで承ります。

お護摩願一覧

家内安全	商売繁盛	健康長寿	厄難消除
身体安全	事業繁栄	心願成就	無病息災
交通安全	学業成就	良縁祈願	災厄消除
身上安全	入学成就	子縁祈願	当病平癒
作業安全	就職成就	恋愛成就	疾病退散
旅行安全	開運成就	安産満足	その他希望願

お護摩料 10000円 1尺7寸
5000円 1尺5寸
3000円 1尺2寸
2000円 1尺
1000円 懐中札
(鞆等に携帯できます)

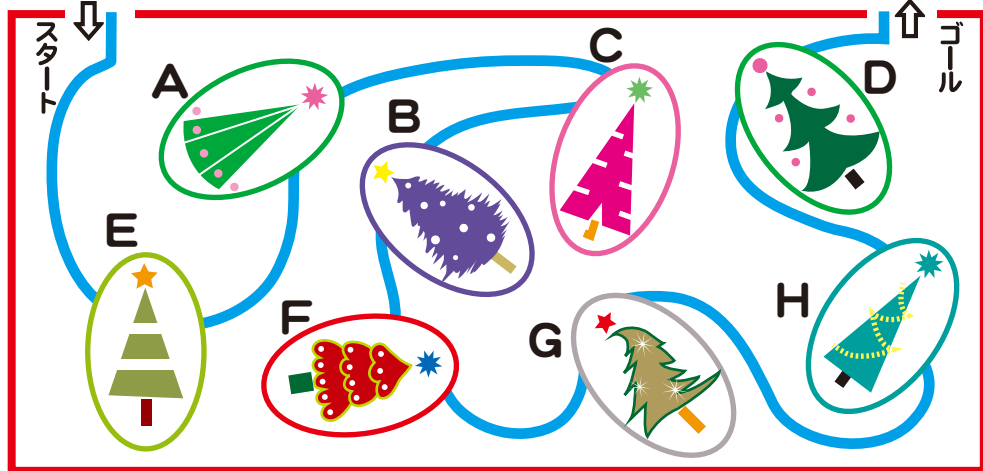
吉祥院

TEL 042-374-2871
FAX 042-374-2915
多摩市豊ヶ丘 1-51-2

チャットくんクイズ ご当選 おめでとうございます!

『イギリスウォーカー社のショートブレッド缶』

当選者発表! 答え【 F 】



多摩市鶴牧 田中様
多摩市鶴牧 常光様
多摩市鶴牧 紀藤様

多摩市落合 大谷様
多摩市中沢 土屋様
多摩市中沢 青柳様

多摩市永山 青島様
多摩市永山 石原様
多摩市永山 吉岡様
八王子市大塚 武政様

2023新年ギフトセレクトショップ



商品も豊富に取り揃えてお待ちしております。お気軽にお立ち寄りください。

今年一年のご愛顧に感謝いたします。新春は1月3日(火)より営業いたします。

PayPay 使えます!



SELECT SHOP MINICREW
セレクトショップ ミニクル
TEL042-306-3296
Instagram =>selectshop.minicrew

お知らせ: 年末年始休業は12/29(木)~2023/1/2(月)です
多摩市落合1-20-10 営業時間 11:00~18:00 定休日 木曜日/駐車場有

年末年始 お留守のため新聞を一時休止されるお客さまへ
休止の間、お取り置きサービスがありますので、ぜひご利用下さい。
※新聞は月々定価のため、お値引きは1週間以上が対象となります。

【発行所】
発行部数12150部

◆ASA多摩センター・永山 多摩市落合1-20-10
フリーダイヤル 0120-165-211/フリーFAX0800-800-3154

アルゼンチンの劇的な優勝で華を下ろしたFIFAワールドカップ「ABEMAS」本解説「面白かった(笑)」
12/15の朝日新聞朝刊でアルゼンチンに敗れたクロアチアの主将「ルカ・モドリッチ」を称える記事が目にとまりました。「負けたまま終わりは、力を出し切り、銅メダルを獲得した。」「最後まで戦う姿を見ることが、人口400万あまりの小国の未来につながる。」「大会中、幾度となくクロアチアの取材が続けられてきたのは、多摩市で育った「若佐友」さん「ぼくはアメリカにすむキリンといひます」でドイツ児童文学賞を受賞された童話作家「若佐友」さんの息子さんです。ヨーロッパ取材からワールドカップ開幕までの長丁場、本当にご苦労様でした。
12/12、末次由紀著「ちはやふる」完結50巻創刊記念の新聞広告。日本全国で異なる10バタンの広告が掲載されたその日、多摩版の紙面を郵送してほしいとの依頼が仙台から...。お若い方ですが、デジタルではなく、新聞を手元に置いておきたいという感覚をうれしく思いました。
年頭、第6波から始まった新型コロナについては、12月に入り増加の一途を辿り、年明けには3万人を超える感染者数が予想されています。年末年始、感染対策を忘れない生活を心がけたいものです。
新聞販売店の新年は元旦の朝刊をお客様のポストにお届することから始まります。
来る2023年は少しでも明るいニュースをお届けできるよう祈るばかりです。
今年一年のご愛読に
心より御礼申し上げます。 所長